

記入例

(日本産業規格A列4番)

様式第1号(表)(第34条関係)

① 年 月 日

稲城消防署長 殿

② 申告者 住所
職業(職) 電話
氏名

不動産り災申告書

1	り災年月日	③ 年 月 日	り災物件と申告者の関係	④ 所有者・管理者・占有者	
	り災場所	⑤ 市 丁目 番地			
⑥ 2	建築・購入年月日	建築又は購入金額			
	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶・不明			
	年 月	1㎡(坪)当たりの金額(円)	総金額(円)		
⑦ 3	取得後の経過				
	修繕・改築	年 月	修繕・改築した箇所		修繕・改築に要した金額(円)
		年 月			
	増築	年 月	増築の概要	増築面積(㎡)	増築に要した金額
		年 月			
⑧ 4	り災前の建物詳細				
	建物の用途	屋根	外壁	階数	延べ面積(㎡)
	居住世帯数	世帯	居住人員		
⑨ 5	建物・収容物以外のり災状況				
	り災物件名	り災の別	数量又は面積	経過年数	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
⑩ 6	火災保険の契約				
	契約会社名	契約年月		保険金額(円)	

不動産り災申告書記入例

- ① **申告年月日**：申告書を提出する年月日を記入してください。
- ② **申告者**：申告する人の住所、職業（又は役職名）電話番号及び氏名を記入してください。
- ③ **り災年月日**：火災があった年月日を記入してください。
- ④ **り災物件と申告者との関係**：り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。
- ⑤ **り災場所**：火災があった住所を記入してください。
- ⑥ (1) 建築、購入年月、金額の欄は、記録（帳簿や契約書など）によって明らかなものなのか、推定によるものかなど、あてはまるものを○で囲んでください。
(2) 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1㎡当たりの金額と総金額を円単位で記入してください。
- ⑦ (1) 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築又は増築があった場合に記入してください。
(2) 修繕・改築・増築の欄は、いつ、どこの部分をどのくらい（㎡）、修繕、改築、増築し、いくら（金額）かかったかを記入してください。
- | | 年月 | 修繕等した箇所 | 金額 |
|----|------------|-------------|-------------|
| 例) | 改築 平成2年8月 | 1階事務所部分 30㎡ | 3,532,500 円 |
| 例) | 増築 昭和59年4月 | 2階住宅 20㎡ | 1,520,000 円 |
- ⑧ (1) り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。
- | | 用途 | 屋根 | 外壁 | 階数 | 延べ面積 |
|----|-------|------|---------|-----|------|
| 例) | 住宅 | 日本瓦 | モルタル | 2階建 | 75㎡ |
| 例) | 店舗・住宅 | 亜鉛鉄板 | 石綿セメント板 | 3階建 | 135㎡ |
- (2) 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。
- ⑨ (1) 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
(2) り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融又は破損したものなど
爆：爆発により、壊れたものなど
他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど
- ⑩ (1) 火災保険の加入が数社ある場合は、契約会社別にすべて記入してください。
(2) 保険金額は、契約会社別に万円単位で記入してください。